

令和8年度 島原半島公立高等学校

入試出願書類(願書等)統一記入要領

令和7年9月作成

島原半島高校入試中高連絡協議会事務局

1 入学願書（一般選抜・定時制Ⅰ期・Ⅱ期選抜・チャレンジ選抜願書もこれに準ずる）

入学願書裏面の「記入上の注意」をよく読み、下の記入例を参考にして、志願者本人が入力するかまたは楷書で記入してください。

(様式1-1)

※受付番号

記入しない。

特別選抜（自己推薦①・自己推薦②） 入学願書

令和 年 月 日

「長崎県立」は不要（以下同様）

高等学校長 様

入力の場合、印刷されない文字や入力できない文字は自筆

本人が入力または、自筆

保護者本人が確認または自筆

貴校への入学を志願いたします。

*該当する選抜の欄に1つだけ○印を付けること

自己推薦①	自己推薦②
-------	-------

志願者	ふりがな 氏 名	生年 平成 年 月 日		
	志願校	高等学校	第1志望	
		制	第2志望	
		志望 学科・ コース	第3志望	
現住所	〒			
保護者	現住所	〒		
志願者の略歴	年 月	中学校入学		
	年 月	中学校転入		
	年 月	中学校転入		
	年 月	中学校卒業見込		
	中学校卒業後			
選抜手数料	払込に係る整理番号 ()			
選抜手数料	☐ 払込済み			
備考	本年度卒業見込みの者は斜線を引く。 旧年度卒業生のみ記入する。 (記入例) ① 令和00年00月0000高等学校退学 (記入例) ② 令和00年00月から令和00年00月まで(株)〇〇に就職			
	選抜手数料振り込みに係る整理番号はその後の選抜（一般・Ⅰ期など）を受検する際に必要になるので必ず保管しておくこと。			

(注) 記入にあたっては、「入学願書の記入上の注意」を参照すること。

2 自己推薦書（自己推薦②もこれに準ずる）

下の記入例を参考にして、志願者本人が入力するかまたは楷書で記入してください。

記入しない。

（様式 2 - 1）

※

特別選抜（自己推薦①）

自己推薦書

令和 年 月 日

「長崎県立」は不要

高等学校長 様

「〇〇市立〇〇」中学校となるよう「 」内を記入する。
（県外は県名記入）

立 中学校 氏名

入学後の活動種目・分野

志願理由

志願者本人が、入力または自筆すること。

主な実績・結果

活動名・大会名 等

学年

実績・結果

添付書類

「有」・「無」のいずれかを記入

備考

志願先高等学校の指示に従うこと。

（注）1 志願者本人が定められた様式に入力または、自筆すること。（入学願書の記入上の注意の1に準じる）

2 「主な実績・結果」欄は、顕著なものについて記入し、別に証明する書類（賞状・新聞記事等）の写しを添付すること。

3 添付する書類はA4判サイズとし、「添付書類」欄に「有」・「無」のいずれかを記入すること。

4 「備考」欄は志願先高等学校から指示があった場合に使用すること。

願書・自己推薦書共通

※ 記入において書き間違った箇所は砂消しや修正液等を使用せず、二重線を引き、正しく書き直すこと。また、消せるボールペン（フリクションペン等）による記入は不可。なお、清書を鉛筆書きで行い、そのコピーを提出してもよい。

「令和８年度長崎県公立高等学校入学者選抜実施要領」記載の注釈等に準じてください。

志願者名簿

*該当する選抜の欄に1つだけ○印を付けること

特別選抜 自己推薦①	特別選抜 自己推薦②	離島留学特別選抜／ 美術・工芸科特別選抜	一般選抜／定時制Ⅰ期・Ⅱ期選抜／ 連携型中高一貫教育に係る入学選抜	チャレンジ
				全日制・定時 から該当した 重線または一

全日制・定時制のどちらか該当しない方を二重線または一本線で削除する。

中学校名	「〇〇市立〇〇中学校」	志願校名	長崎県立は不要	高等学校	全日制 定時制 (夜間・昼間)
------	-------------	------	---------	------	-----------------------

※受検番号	氏 名	備 考	既受検校	通学区域外 志願
	〇〇 〇〇	〇〇〇〇		
	〇〇 〇〇	〇〇〇〇		〇
	〇〇 〇〇	〇〇〇〇	〇〇高校	
	〇〇 〇〇			
	〇〇 〇〇	△△△△		
	〇〇 〇〇	△△△△		
	〇〇 〇〇	△△△△		
	〇〇 〇〇	△△△△		
	〇〇 〇〇	□□□□		
	〇〇 〇〇	□□□□		

しない。

「〇〇〇〇科」の
「科」は記載不要

普通科につ
は通学区
願の場合「
記入する。

氏名は常用漢字を用
いること（外字は利
用しない）

志願者が、すでに公立
高等学校を受検した
場合（志願のみで受検
しなかった場合を含む）は、その受検校名
を記入する。

チャレンジ選抜、Ⅱ期
選抜において、「既受
検校」が複数校ある場
合はすべて記入する
こと。

学科別の明記は、学
校ごとの指示に従う
こと。

氏名は常用漢字を用
いること（外字は利
用しない）

「〇〇〇〇科」の
「科」は記載不要

普通科については通学区域外志願の場合「○」を記入する。

志願者が、すでに公立
高等学校を受検した
場合（志願のみで受検
しなかった場合を含
む）は、その受検校名
を記入する。

チャレンジ選抜、Ⅱ期選抜において、「既受検校」が複数校ある場合はすべて記入すること。

学科別の明記は、学校ごとの指示に従うこと。

(1) 男女で名簿を分ける必要はないが、学校ごとの指示があればそれに従うこと。

(2) 特別選抜自己推薦①と自己推薦②は分けて名簿を作成すること。

(3) 学科・コースが複数ある高校について、「備考」の欄に学科・コース名を記載すること。
なお、下記一覧の順に学科ごとまとめること。

島原高校全日制	普通科、文理探究科
島原農業高校	農業ビジネス科、食品サイエンス科、生活創造科
島原工業高校	機械システム科、電気電子科、建築技術科
島原商業高校	商業科、情報処理科、家政科
小浜高校	普通科、総合ビジネス科
口加高校	普通科普通コース、普通科グローバルコース、福祉科

(4) ※欄は、高校で記入するので、出願時には記入しない。

(5)「既受検校」欄は、志願者がすでに長崎県公立高等学校を受検した場合（志願して受検しなかった場合も含む）、その受検校名を記入すること。なお、チャレンジ選抜、Ⅱ期選抜において「既受検校」が複数ある場合は、すべて記入すること。

4 調査書

記入に際しての詳細は、実施要領のP107、P108「調査書の記入・作成要領等」に従うこと。
(様式6-1)

調 査 書

令和 7 年度 第 3 学年 組 号										※		
志願者	ふりがな				性別							
	氏名	氏名は常用漢字を用いてもよい			現住所	住民票記載のとおりに記入する。						
	生年月日	平成 年 月 日			略歴	令和 年3月中学校卒業見込						
保護者氏名		親権者又は後見人を記入する。			保護者現住所	志願者の欄に同じ						
各教科の記録	学年	観点別学習状況				評 定			特別活動の記録			
	教科	観点	1	2	3	1	2	3	学級活動 ○			
	国 語	知識・技能	A	A	—	5	3	4	学校行事	—		
		思考・判断・表現	—	—	—				生徒会活動	—		
		主体的に学習に取り組む態度	A	—	C				行動の記録			
		知識・技能							基本的生活習慣	—		
	社 会	思考・判断・表現							健康・体力の向上	○		
		主体的に学習に取り組む態度							自主・自律	—		
		知識・技能							責任感	○		
		思考・判断・表現							創意工夫	—		
	数 学	主体的に学習に取り組む態度							思いやり・協力	—		
		知識・技能							生命尊重・自然愛護	—		
		思考・判断・表現							勤労・奉仕	—		
		主体的に学習に取り組む態度							公正・公平	—		
	理 科	知識・技能							公共心・公德心	—		
		思考・判断・表現							出欠の記録			
		主体的に学習に取り組む態度							学年	欠席日数	欠席の主な理由	
		知識・技能							1	13	頭痛8 発熱	
	音 楽	思考・判断・表現							2	6		
		主体的に学習に取り組む態度							3	0		
知識・技能								健康の状況				
思考・判断・表現								就学及び受検上配慮すべき事項がある場合、その事項を具体的に記入する。記入すべき事項がない場合は、斜線を引く。				
美 術	主体的に学習に取り組む態度											
	知識・技能											
	思考・判断・表現											
	主体的に学習に取り組む態度											
保 健 体 育	知識・技能											
	思考・判断・表現											
	主体的に学習に取り組む態度											
	知識・技能											
技術・家庭	思考・判断・表現											
	主体的に学習に取り組む態度											
	知識・技能											
	思考・判断・表現											
外 国 語	主体的に学習に取り組む態度											
	知識・技能											
	思考・判断・表現											
	主体的に学習に取り組む態度											
計	知識・技能	Aの数										
	思考・判断・表現	Aの数										
	主体的に学習に取り組む態度	Aの数										
	総合的な学習の時間の記録											
第1学年、第2学年及び第3学年における総合的な学習の時間の活動内容と評価を記入する。												
参考となる諸事項												
①各教科や総合的な学習の時間の学習に関する所見 ②特別活動に関する事実及び所見 ③行動に関する所見 ④学校内外における奉仕活動 ⑤表彰を受けた行為や活動等の諸事項 ⑥生徒の成長の状況にかかわる参考となる諸事項等を記入する。												
本書の記載に誤りのないことを証明します。												
令和 年 月 日 記載責任者 職 氏 名												
令和7年12月末日現在で作成する。 氏 名 印												

(注) ※欄は中学校で記入しないこと。

5 成績一覧表

記入に際しての詳細は、実施要領のP110「成績一覧表の記入・作成要領等」に従うこと。

6 写真票

(様式3-5)

氏名

○

○

たて書きで記入、鉛筆は不可

	全日制課程・定時制課程昼間部 特別選抜
	全日制課程・定時制課程昼間部 一般選抜
	定時制課程（昼間部を除く）Ⅰ期選抜
	定時制課程（昼間部を除く）Ⅱ期選抜
	帰国生徒・外国籍生徒に係る入学者選抜の特例措置
	離島留学特別選抜
	美術・工芸科特別選抜
	チャレンジ選抜

*上記のいずれかの左欄に○印を付ける。

受検番号	※
------	---

※印の欄は記入しない。

写真写真票に直接印刷しない。

○写真印画紙について
・普通紙は使用しない
・極端に薄い紙を使用しない

写真の裏面には何も書かない。

(写真)

※サイズ「たて5cm×よこ4cm」

○撮影について
・スナップ写真や複数写っているものの切り抜きは不可
・背景を無地としたもの

- (注) 1 志願者氏名欄は、志願者本人が、たて書きで記入すること（鉛筆は不可）。
2 写真は、脱帽、正面、上半身のものとし、出願前3か月以内に撮影したものを原則とするが、志願者本人であることの判別が可能な場合、令和7年度中に撮影したものを用いてよい。
3 写真の背景は無地とし、本人のみを撮影したものに限る（集合写真の切り抜き等は不可）。
また、印画紙の質や厚さは特に定めないが、本人が鮮明に印画されるものを使用すること。